

A-148 液体試料の含有熱量の測定
和洋女短大 茶野恵一郎

目的 エネルギー代謝実験の際の尿、アルコール飲料などの液体試料の含有熱量を直接測定する方法として、粉末濾紙に吸収させ燃焼するのと、試料を直接ゼラチンカプセルにとり燃焼する方法を比較検討した。

方法 爆発熱量計(島津燃研式CA-2型)を使用し、東洋濾紙製粉末濾紙(3970 cal/g)および応研商事製ゼラチンカプセル(4910 cal/g)を用いて 爆発熱量を測定した。

結果 爆発熱量の高い試料においてはゼラチンカプセルを用いる方が高い回収率が得られたので本法により今回は各種アルコール飲料の含有熱量を測定した。